

第1回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和3年6月10日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、高齢者が自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。

協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

< 委員紹介 > 敬称略

	委員氏名	所属
1	森谷 哲郎	もりやクリニック 院長
2	布施 秀樹	白井聖仁会病院 院長
3	近藤 修一	すまいる歯科 院長
4	鈴木 雅之	レモン薬局 薬局長
5	福岡 幸子	白井市民生委員・児童委員連絡協議会 会長
6	平野佐代子	さつきの里訪問看護ステーション 看護師
7	小倉 崇綺	北総白井病院訪問リハビリ 理学療法士
8	久米 寛子	ケアサービス優楽里 サービス提供責任者
9	鶴澤 君衣	北総白井訪問看護ステーション居宅介護支援部 主任ケアマネ
10	中野健太郎	印西警察署 生活安全課長
11	岩崎 照夫	白井消防署 救急係長

●● 第1回協議会の主な内容 ●●

「在宅医療・介護連携推進事業」と「認知症総合支援事業」の昨年度実績、今年度事業計画について報告しました。

また、「認知症初期集中支援チーム」の昨年度実績報告を行いました。認知症に関する相談は年々増加しています。支援チームの対象者も昨年度は11名まで増え、支援チームの介入により、ほとんどのケースにおいて家族の負担感軽減が図れるなど、一定の効果をあげています。

市では、医療・介護関係者に「認知症初期集中支援チーム」の取り組みを周知するため、支援チーム活動事例集を作成しました。会議では関係者への周知方法等について意見をいただきました。意見を参考に、事例集を活用した支援チームの周知に取り組んでいきます。

課題別ワーキング

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ICT検討ワーキングのみの開催でしたが、今年度は下記のテーマで開催します。活動報告は協議会で随時行う予定です。

在宅医療・救急医療連携

市民啓発

多職種連携情報共有
(ICT普及)

トピックス

「多職種連携情報共有システム」の運用を今年3月から開始しています。

在宅医療を受ける患者に関わる多職種（医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・訪問リハビリ職・ヘルパー・ケアマネジャー等）のスムーズな情報共有を図るためICTを活用したシステムを導入しています。患者情報の共有以外に、同職種間や他職種間の情報交換等にも活用することができます。ICT普及ワーキングで活用方法を検討し、詳細が決まり次第、関係者の皆様にご連絡いたします。